

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	ひかり児童館、第一・第二・第三・第四光町学童保育所、第三泉町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 明日葉	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係ること。		

令和3年度までは前指定管理者(灰色部分)

単位:円

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計
収入		111,599,268	132,904,745	131,230,959	375,734,972
収入内訳	指定管理料	111,599,268	129,431,650	127,721,659	368,752,577
	利用料金	0	0	0	0
	その他	0	3,473,095	3,509,300	6,982,395
支出		105,597,359	135,528,307	139,732,634	380,858,300
収支差額		6,001,909	▲ 2,623,562	▲ 8,501,675	▲ 5,123,328

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	指定管理期間2年目の中、消毒の徹底を続けていたことや要望を受けた児童館幼児室等の新しいおもちゃの導入を行ったことにより消耗品費が増となったこと、加配職員が見込みより多く必要となり増とはなったが、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書について各施設職員が内容を把握し、それに基づき業務が実施されていた。提案している自主事業についても計画に沿って実施していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	第一光町学童保育所において1件一日保育の把握ミスがあったが、私学の予定を会議で読み上げ、職員全員で情報の把握する等、その後適切に対処し改善している。	3	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	4	書類は施錠できる書棚に保管するなど適正な管理をしており、事務室内は書類が整理整頓されていた。情報共有についても、毎日の終礼や、できごと共有ノートを職員全員の確認欄を作るなど工夫されていた。	4	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	日常業務の中で日常保守点検チェックシート等により職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。蛍光灯の掃除やコンセントを漏電防止のものに取り換えるなど、こまめに施設整備していた。	4	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等の実施されていた。	3	3

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	ひかり児童館	17,713人	24,539人	30,729人	24,327人
	第一光町学童	57.8%	59.7%	59.3%	58.9%
	第二光町学童	50.5%	71.1%	80.6%	67.4%
	第三光町学童	42.9%	53.4%	74.9%	57.1%
	第四光町学童	36.3%	39.0%	49.0%	41.4%
	第三泉町学童	86.1%	88.3%	89.3%	87.9%
※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満 足度(%)	ひかり児童館	92.0%	90.0%	96.0%	92.7%
	第一光町学童	96.6%	100.0%	100.0%	98.9%
	第二光町学童	100.0%	93.6%	100.0%	97.9%
	第三・第四光町学童	100.0%	94.7%	97.4%	97.4%
	第三泉町学童	89.2%	100.0%	100.0%	96.4%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対する満足度において、98.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年よりも高い水準となっていた。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	要望を受け、児童館での日曜開館やリトミック行事の実施等を実施していた。学童も、遊戯室での体を動かす時間の確保や校庭遊びの時間を増やしたり、光図書館で本を借りて児童が読めるようにするなど要望を受け実施していた。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対する満足度において、97.1%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、前年よりも高い水準となっている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	第一光町学童で1件、第三・第四光町学童保育所で2件苦情があったが、速やかに改善対策を検討し、保護者に丁寧な説明を行い、その後改善対策を徹底されていた。	3	3
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報記載された書類やパソコンについては、施錠できる書棚に保管し適切に管理していることを確認した。第二光町学童では窓の外から室内が見えないよう装飾を工夫していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	4	研修をアーカイブ化しており、空き時間に各自が研修を受けることができている。また、プレイリーダー講習会やつくしんぼ・ヤングケアラー研修や、外部の研修にも積極的に参加していた。	4	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	昨年度に引き続き障害者差別解消法の資料・マニュアル等を周知し、外部研修やつくしんぼの研修にも積極的に参加した。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準性の評価に応じた	自然災害等への対応	4	避難訓練は原則毎月実施した。児童館では災害時のマニュアル等は適切に見えるところに保管され、職員の消防役割の一覧も掲示。公民館と4月に合同避難訓練を実施した。学童では、警察による不審者訓練も実施した。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	光公民館との映画会等、併設施設を生かした活動を行った。児童館では学校キャンプに職員が参加し、学童でも、近隣の方に感謝の手作りの贈り物や市民フェスティバルへの参加、農園での収穫体験等地域との連携を行っており、前年度よりも積極的に交流を行った。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	4	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、保護者とも適宜コミュニケーションをとっていた。引き続き毎日昼礼等でおやつ成分表の読み上げを行っていた。第二光町学童では毎月おやつメニュー表をアレルギー児に配布していた。	4	4 及び 3 ※1

※1…ひかり児童館、第一・第二光町・第三泉町学童は4、第三・第四光町学童は3(第三・第四光町学童がR3新設で別の評価票だったため)。他項目は同評価

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関連する実施状況の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>指定管理期間2年目となり、前年度よりも自主事業や学校キャンプなど地域との連携をより積極的に行い、市への報告も遅滞なく適切になされるなど、安定した施設の管理・運営がなされていた。また、昨年度のアンケートや利用者懇談会等での利用者の要望等を迅速に対応しサービスの向上に努めていることにより、利用者アンケートの満足度が昨年度よりも高くなる結果につながった。</p> <p>児童館については、日曜開館等の自主事業や季節の行事や工作イベント等も創意工夫をして実施するなど、来館者増につながる取組が実施されていた。また、公民館等との合同行事としてわいわいまつりや、お花を植える活動など併設館を生かした活動も実施できていた。</p> <p>学童保育所については、降所ミス等が数件発生してしまったが、その後速やかに改善策を講じ、保護者会等で説明するなど丁寧に誠意のある対応を行っており、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。</p> <p>今後も引き続き、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた効果的な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>	3	3
主管課長： 子ども子育て支援課 氏名： 山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>本年は指定管理2年目となりました。2年目は、初年度の運営を改めて振り返りつつ、より利用者に寄り添った運営を心掛けていきました。前指定管理者から引き継いだ行事を、更にブラッシュアップさせて実施しました。また、前年度の利用者アンケートにて要望されていた「日曜特別開館」を自主事業として実施したり、学童保育所では昨年度実施できなかった「学習支援タブレット」の運用を開始する等、提案事業を実施できました。他に、提案事業として初年度から実施している「長期休業期間配食サービス事業」は、本来の提案に沿った本運用を開始できました。多くの自主事業を実施できたことで、おおよその水準を満たしていると感じます。また、地域との協力・連携を大切にすることを目標とし、地域で活動している団体や、近隣小学校の保護者が主体となったキャンプ等、様々な地域の方と繋がることのできたことは、大変嬉しいことでした。3年目の課題としては、児童館は子どもがより参画できるような運営・行事作りを目指します。</p> <p>また、第一光町学童保育所で1件発生した「開所事故」及び、第三・第四光町学童保育所で発生した2件の「降所事故」が発生したことは猛省です。事故発生直後、児童・保護者には謝罪し、直ちに所属職員・統括・マネージャーを交え、再発防止策を講じました。改善策として登所児童の確認を複数人で行なう、また複数校の児童が所属している学童保育所については、所属校の予定表を把握する等、これまで実施していた管理をさらに改善向上させました。令和6年度はこれらの反省を踏まえ、在席児童の安全安心を更に高めるために、登降所の管理を徹底し、これまで以上の保育内容の質の向上を目指します。</p>	3	3

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>児童館・学童保育所の運営について、適切かつ丁寧に取り組んだことを高く評価する。利用者の要望を把握し、それらを運営に反映させていた。また、職員研修について、動画による研修を職員が受けたい時間に受けられる仕組みが構築されていた。さらに、地域との交流を積極的に推進していた。ただ、本年度において、850万円以上のマイナス収支となっている点が懸念される。担当課とも必要な協議、調整等を行いつつ、管理運営を行っていただきたい。</p>	3	3